

東京大学教養学部(日本語アカデミック・ライティング担当)教員公募

1.	職名及び人数	准教授または講師 1名
2.	採用予定日	2022(令和4)年4月1日,もしくはそれ以降のできるだけ早い時期
3.	任期	2022年4月1日以降できるだけ早い日付～2027年3月31日
4.	更新の有無	更新する場合がある。ただし更新は1回限りとし、更新後の任期は2032年3月31日までとする。 (更新は従事している業務の進捗状況、勤務成績、勤務態度、健康状況、予算の状況、契約期間満了時の業務量等を考慮の上判断される)
5.	試用期間	試用期間あり(採用日から6ヶ月間)
6.	勤務地	東京都目黒区駒場3-8-1 東京大学駒場Iキャンパス
7.	所属	大学院総合文化研究科・教養学部附属グローバルコミュニケーション研究センター／教養学部日本語部会・PEAK 前期部会
8.	業務内容	<p>1) 2022年度発足予定の Komaba Writing Center (仮称 KWC)において、留学生等に対するアカデミックライティングサポート体制を整え、日本語セクションの運営を行う。その際英語など、他の言語のライティングサポートセクションとの連携も行う。</p> <p>2) 「教養学部前期課程」、「短期交換留学プログラム」(USTEP/AIKOM)および「教養学部英語コース (PEAK: Programs in English at Komaba)」において、主として前期課程(学部1,2年生)を対象とする日本語科目の授業等を担当する。</p> <p>3) 日本語教育カリキュラムの立案、コーディネート、教材開発、その他学内運営に関わる各種業務を行う。</p> <p>4) 「国際日本研究教育機構」(JEA: Japan in East Asia)の後期課程(学部3,4年生)学生、「国際人材養成プログラム」(GSP: Graduate Program on Global Society)の大学院生に対する授業、指導を担当することもある。</p> <p>※グローバル・コミュニケーション研究センター: http://www.cgcs.c.u-tokyo.ac.jp ※USTEP: https://www.u-tokyo.ac.jp/en/academics/ustep-overview.html ※PEAK: https://peak.c.u-tokyo.ac.jp ※JEA: http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/PEAK-JEA/ ※GSP: http://gsp.c.u-tokyo.ac.jp</p>
9.	就業時間	専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分勤務したものとみなされる。
10.	休日・休暇	原則として土・日、祝日(ただし、祝日が授業振替日になることがある)、年末年始(12月29日～1月3日)、年次有給休暇、特別休暇 等
11.	給与	学歴・職務経験等を考慮して決定。昇給制度あり。 参考: 博士修了 /34万円～ 諸手当 賞与(年2回)、通勤手当(原則55,000円まで)の他、本学の定めるところによる。
12.	社会保険等	文部科学省共済組合、雇用保険に加入。
13.	応募資格	1) 日本語教育、または関連分野における博士の学位を有すること、または着任時までに取得見込みであること。

		<p>2) 大学学部レベルの第二言語としての日本語を教える教育能力・日本語能力を有し、高等教育機関等で日本語を教えた経験が3年以上あること(個人授業、TAは除く)。</p> <p>3) 英語での授業や学内業務に必要となる高度なレベルの英語運用能力を有すること。</p> <p>4) アカデミック・ライティングについての教育経験・研究業績があることが望ましい。</p> <p>5) プログラム・コーディネーション(特にアカデミック・ジャパニーズに関するプログラムの企画・運営)の経験があることが望ましい。</p>
14.	提出書類	<p>1) 履歴書(東京大学統一履歴書フォーマットを以下の URL からダウンロードして使用してください) http://www.u-tokyo.ac.jp/per01/r01_i.html</p> <p>2) 最終学歴を証明する書類(コピー可。学位取得予定者の場合、その旨を証明する所属長または指導教員の文書を添付してください)</p> <p>3) 研究業績目録(学位論文、著書、研究論文、その他。主要業績3点に○をつけてください)</p> <p>4) 教育貢献目録(これまでの担当授業科目、プログラム・コーディネーション経験等)</p> <p>5) 主要研究論文等3編</p> <p>6) これまでの研究概要と今後の研究の計画を記した文章(日本語で2000字程度)</p> <p>7) こんにちの言語教育におけるアカデミック・ライティングの現状や問題点を踏まえたうえで、本学でのアカデミック・ライティング教育をどのように進めていきたいかについての抱負(英語で600語程度)</p> <p>8) 本人についての参考意見を求める方2名の氏名・所属・連絡先(電話番号およびメールアドレス)を記した書類</p> <p>※書類はすべてPDF化し、全体をひとつのZIPファイルに圧縮して提出してください(ZIPファイル名には応募者のお名前を含めてください)。なお、業績については追加提出を求める場合があります。</p> <p>※博論や著書など大部の業績を送ることを予定している場合は、その現物を下記問い合わせ先の宛先に郵送することも可とします。ただし該当する場合は、上記3)の目録にその旨を記載するとともに、現物の郵送前に、問い合わせ先のメールアドレスに必ず連絡してください。</p>
15.	提出方法	<p>上記書類のPDFをひとつに圧縮したZIPファイルを、以下のURLにアップロードしてください。</p> <p>https://davw03.ecc.u-tokyo.ac.jp/public/16-oAAWI-suAb8ABHV17PrJgahiVx203PG9gsFVvhEfh</p>
16.	応募締切	<p>2021年10月11日(月)必着</p> <p>書類選考の上、合格者に対し面接・模擬授業を実施します(10月下旬か11月上旬の予定。日本語および英語で行われます)。本学へお越しいただくことを原則としますが、新型コロナウイルス感染状況が改善しない場合、あるいは遠方からの応募者の方にはオンラインでの面接・模擬授業を認めることがあります。なお、面接等に要する交通費・宿泊費・通信費などは自己負担とします。</p>
17.	書籍等送付先 及び 問い合わせ先	<p>153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1</p> <p>東京大学大学院総合文化研究科・教養学部附属グローバルコミュニケーション研究センター</p> <p>日本語アカデミックライティング教員募集担当 宇佐美洋 宛て(「応募書類在中」と朱書してください)</p> <p>e-mail: app_jpd-group[at]g.ecc.u-tokyo.ac.jp ※[at]は@に置き換えてください。</p>
18.	募集者名称	国立大学法人 東京大学
19.	その他	<p>応募書類は原則として返却しませんが、書籍については、ご希望があれば着払いで返却しますので、その旨ご連絡ください。</p>

	<p>取得した個人情報は、本人事選考以外の目的には利用しません。 東京大学は男女共同参画を推進しています。</p>
--	---